

環境活動レポート

EA21

活動期間(2015年9月～2016年8月)



表紙目次

	1 頁
1 事業活動の概要	2 頁
2 事業活動の対象範囲	2 頁
3 環境方針	3 頁
4 環境目標及びその実績	4 頁
5 環境活動計画	5 頁
6 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	6 頁
7 環境関連法規への違反・訴訟の有無	7 頁
8 次回の環境活動レポートの作成時期	7 頁
9 代表者による全体の評価と見直し	8 頁

平成28年12月9日

株式会社 マルハナ

(認証・登録番号 0002582)

1 事業活動の概要

(1) 事業者及び代表者名

株式会社 マルハナ
代表取締役 花島 隆是

(2) 所在地

〒432-8055
静岡県浜松市南区卸本町2000番地の6
Tel: 053-441-0141 fax: 053-441-0254
E-mail: metal@maruhana.co.jp
URL http://www.maruhana.biz/

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 取締役 花島佳子 Tel: 053-441-0141
片橋 七奈代 Tel: 053-441-0141
E-mail: home@maruhana.co.jp

(4) 事業内容

- ・ 建築金物・一般金物卸売業
- ・ 屋根材・外壁材・手摺・現場製作金物・アルミ内外装建材・ステンレス加工製作・
エクステリア商品・厨房製品等販売、取付工事
- ・ 土木用資材販売
- ・ 建設業の許可 : 許可番号 静岡県知事 (般-23) 第 5425 号
有効期間 平成24年2月23日から平成29年2月22日
建設業種類 建築工事業
鋼構造物工事業
屋根工事業
板金工事業
とび・土工工事業
建具工事業
管工事業
タイルれんがブロック工事業
- ・ 屋外広告業 : 登録番号 静岡県知事登録屋外広告業 第 462 号
有効期間 平成28年4月26日から平成33年4月25日

(5) 事業規模

- ・ 敷地 3,360 m²
- ・ 事務所・倉庫 2,300 m²
- ・ 資本金 23,400 千円
- ・ 創業 昭和29年 6月 1日
- ・ 会社設立 昭和34年 3月12日
- ・ 従業員数 21 人 (平成27年)
- ・ 活動規模

(単位:千円)

年度	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
第 期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
売上高	633,238	770,705	680,663	824,201	889,398	758,886	
社員数	17人	17人	17人	19人	19人	21人	

(事業年度 9月～8月)

2 事業活動の対象範囲

全社、全組織を対象とします。

EA21

環境方針

基本理念

株式会社マルハナは、自然を大切にする生活環境づくりを目指し、次世代により良い環境を残すように積極的に環境保全に貢献します。

当社は、事業活動の中で社員一人ひとりが環境保全活動のスパイラルアップを目指し事業を展開していきます。

- 1) 建設業を通じて環境への影響を考慮し、環境保全に取り組めます。
- 2) 環境に配慮した商品の提供、及び施工を行なうように努めます。
- 3) 事業活動に伴い発生する環境負荷、総排水量(水使用量)、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量の削減に取り組めます。
- 4) グリーン購入を行い、環境負荷ができるだけ少ない物品を購入するように努めます。
- 5) 環境に関連する法規制等を遵守します。
- 6) 従業員及び、下請け業者の方にも、環境に配慮した事業活動に取り組むよう努めます。又、この環境方針は掲示し全従業員に周知します。

平成19年8月20日 制定
平成22年8月31日 改訂

静岡県浜松市南区御本町2000番地の6
株式会社 マルハナ

代表取締役

花島隆是



4 環境目標とその実績

(1) 環境目標

(累計%)

項目	現場 事務所	単位	2013年実績	2015	2016	2017
環境に配慮した商品の提供			配慮しました。	商品の提供を配慮します。		
グリーン購入			配慮しました。	購入を配慮します。		
CO2 削減 (売上高)	現場 事務所	Kg・CO2 /百万円	99,717.28 121.01	-0.32% 120.62	-0.48% 120.43	-0.64% 120.24
購入電力削減 (売上高)	事務所	kWh /百万円	27,530.00 33.41	-0.32% 33.30	-0.48% 33.25	-0.64% 33.20
ガソリン使用量削減 (10台)	現場 事務所	リットル /車台数	18,556.74 1,855.67	維持向上に努めます		
軽油使用量削減 (4台)	現場	リットル /車台数	16,437.87 4,109.47	維持向上に努めます		
都市ガス使用量削減 (売上高)	事務所	m ³ /百万円	2,790 3.38	維持向上に努めます		
水使用量削減 (19名)	事務所	m ³ /人数	226 11.89	維持向上に努めます		
廃棄物排出量削減 (売上高)	現場 事務所	トン /百万円	38.88 0.05	-0.32% 0.04984	-0.48% 0.04976	-0.64% 0.04968

※2013年度を基準年度とします。

(2) 一年間の「環境への負荷の自己チェック」の実績比較

項目	現場 事務所	単位	2015年 目標値	2015年 実績	判定
環境に配慮した商品の提供			商品の提供を配慮します。	リサイクル・環境循環型商品 などの販売	○
グリーン購入			購入を配慮します。	グリーン購入の実施の強化	○
二酸化炭素排出量 (売上高)	現場 事務所	Kg・CO2 /百万円	120.62	152.66	×
購入電力 (売上高)	事務所	kWh /百万円	33.30	38.70	×
ガソリン使用量 (10→12台)	現場 事務所	リットル /車台数	18,556.74 1,855.67	20,462.56 1,705.21	○
軽油使用量 (5→4台)	現場	リットル /車台数	16,437.87 4,109.47	17,755.16 4,438.79	×
都市ガス使用量 (売上高)	事務所	m ³ /百万円	2,790 3.38	3,444.00 4.54	×
水使用量 (19名→21名)	事務所	m ³ /人数	226 11.89	261.00 12.42	×
廃棄物排出量 (売上高)	現場 事務所	トン /百万円	0.04984	0.06358	×

※備考 1) 環境に配慮した商品の提供は、数値目標提示は難しく、、、「CCS」マーク商品などの住宅環境対策品を推奨し販売する。

2) グリーン購入に関しても、事務用品費以外の消耗品及び商品の再生品にも目標を決めていきたいが、数値目標提示が難しいのでメーカーで判断できるようにしていく。

3) CO2削減と電力は、仕事量(売上高)で変わるため目標設定が難しい。

4) ガソリン・軽油使用量は、車の台数・仕事量(売上高)で目標設定が難しい。又、期の途中で車台数が変わるので、両方の情報が必要。

5) 都市ガスは、エアコンがガスのため、仕事量が増えると増え天候にも左右される。エアコンを効率の良い新機種へ移行しましたが、新部門設立に伴い3台増設したため、都市ガス使用量の増加しました。

6) 水使用量は人数などによって変わりますので単位を見直しました。今回は水漏れがあり工事をしました。水道料は戻してもらいましたが、使用量はかなり増えてしまいました。

7) 廃棄物排出量は仕事量(売上高)で変わるため目標設定が難しい。

8) 活動も9年たち低減目標の継続は困難になると予想されますので目標設定を中長期目標に設定し、単位の設定も見直しました。

9) 今回も判定に×が多く、人数も2名増えたため、あらゆる面に反映されましたが、これからも少しでもCO2削減したいと思います。

* 二酸化炭素排出量の算出には、中部電力の平成26年の実排出係数の0.497kg-CO2/kWhを用いました。

5 環境活動計画 (2015年度)

株式会社 マルハナ

No.	項目 / 具体的取組	スケジュール											
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
①	環境に配慮した商品の提供、及び施工	← 現状把握 →		← 対策検討 →				← 効果確認・見直 →					
	A) 環境にやさしい リサイクル商品・環境循環型商品の販売	← 勉強会実施・問題点の抽出 →											
	B) 住まう人にやさしい 快適健康生活をおくるための工法等の提供	← // →											
	C) 使う人にやさしい 工事業者様への省力化・コスト削減等の提案	← // →											
②	二酸化炭素排出量(燃料・電気)の低減	← 現状把握 →		← 対策検討 →				← 効果確認・見直 →					
	・全車両のエコドライブの周知(ガソリン・軽油) [担当者:高井・後藤・笠原]	← 現状把握 対策検討 効果確認・見直 →											
	A) アイドリングの禁止	← 実施 →											
	B) 荷台に不要な荷物は置かない(降ろす)	← // →											
	C) 急発進・急加速の禁止	← // →											
	D) エンジンブレーキの積極使用	← // →											
	E) 車のエアコン控えめに	← // →											
	F) 計画的な運転(ルート)を	← // →											
	G) 早めにシフトアップ	← // →											
	H) タイヤの空気圧をチェック	← // →											
	・エアコンの設定温度を夏28℃冬23℃に設定(都市ガス) [担当者:小幡明宏]	← 実施 →											
	・クールビズ・ウォームビズを推奨 [担当者:横木信行]	← 実施 →											
	・低排気車両の順次入替中 [担当者:花島佳子・鈴木敏文]	← 順次エコ車両に入替中 →											
	・電力の削減 [担当者:片橋七奈代・佐々木雅康]	← 実施・問題点の抽出 →											
	A) 不要な電気の消灯を実施(事務所・倉庫)	← // →											
	B) 使っていないパソコンの電源OFFを実施	← // →											
	③	水使用量の削減 [担当者:鈴木礼子・山住友美子]	← 現状把握 →		← 対策検討 →				← 実施・問題点抽出 効果確認・見直 →				
・使用に際しては、水の垂れ流し状態などをなくし、こまめに蛇口を閉める		← 現状把握 対策検討 効果確認・見直 →											
④	廃棄物排出量の削減	← 現状把握 →		← 対策検討 →				← 効果確認・見直 →					
	・一般廃棄物 事業所系 [担当者:松浦純雄・中村滋子]	← 現状把握 対策検討 効果確認・見直 →											
	A) コピー用紙の両面使用(コピー機とプリンターも!)	← 実施・問題点の抽出 →											
	B) 業務連絡に電子メールの利用など、ペーパーレスに努める	← // →											
	C) 電子マニフェスト・システムの導入	← // →											
	D) 事務用品のリユースに努めます。	← // →											
	・産業廃棄物 [担当者:村松 優・五十右康行]	← 現状把握 対策検討 効果確認・見直 →											
	A) 現場用の産業廃棄物は適正な収集運搬処分によりマテリアルリサイクルを実施する(100%リサイクルする業者を選択してます)	← 実施・問題点の抽出 →											
	B) 粗大ゴミ、ビニール、プラスチック類等は、事業所系では産業廃棄物になるので、上記同様に実施する。	← // →											
	C) マニフェスト票管理の徹底管理	← // →											
	・リサイクル推進 [担当者:竹迫公一・山本哲己・花島真希]	← 現状把握 対策検討 効果確認・見直 →											
	A) ダンボール、雑誌等紙類のリサイクル	← 実施・問題点の抽出 →											
	B) ペットボトル、瓶、缶等飲料容器のリサイクル	← // →											
C) 「マイバッグ宣言」現場用のバケツバッグ配布!	← // →												
D) 「エコキャップ運動」の推進	← // →												
⑤	グリーン購入	← 現状把握 対策検討 効果確認・見直 →											
	・グリーン購入の実施の強化	← 実施・問題点の抽出 →											

6 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

No.	項目 / 具体的取組	評価	次年度の取組
①	環境に配慮した商品の提供、及び施工 [担当:社長・佳子・竹迫]	「環境展」や各展示会を見学。エコ関係への活動に参加。朝礼、早朝安全大会を通じ情報提供をしている。	今期同様、取り組みを進めたい。エコハウスの利用やネットを通じてのエコ商品の販売拡販をしたい。
	A) 環境にやさしい リサイクル商品・環境循環型商品の販売		
	B) 住まう人にやさしい 快適健康生活をおくるための工法等の提供		
②	C) 使う人にやさしい 工事業者様への省力化・コスト削減等の提案	「エコドライブ認定推進事業」としてスタートしました。今回も車1台(ガソリン車2台増、軽油車1台減)増えました。結果ガソリンの使用量は1台当たりでは減らすことができました。	来期も浜松市事業所の「エコドライブ認定事業」にエントリーしエコドライブ認定の事業所を目指します。
	二酸化炭素排出量(燃料・電気)の低減		
	・全車両のエコ・ドライブの周知(ガソリン・軽油) [担当:高井・後藤・笠原]		
	A) アイドリングの禁止		
	B) 荷台に不要な荷物は置かない(降ろす)		
	C) 急発進・急加速の禁止		
	D) エンジンブレーキの積極使用		
	E) 車のエアコン控えめに		
	F) 計画的な運転(ルート)を		
	G) 早めにシフトアップ		
	H) タイヤの空気圧をチェック		
	・エアコンの設定温度を夏28℃冬23℃に設定(都市ガス) [担当:小幡]		
・クールビズ・ウォームビズを推奨 [担当:横木]	ガス使用料も増えました。	省エネ車の入替えを検討。	
・低排気車両の購入を検討 [担当:佳子・鈴木]	随時省エネ車の入れ替えをしている。		
・電力の削減 [担当:片橋・佐々木]			
A) 不要な電気の消灯	パソコンの台数が増えたため、	倉庫の蛍光灯をLEDに替えていく。	
B) 使っていないパソコンの電源OFF	電力使用料も増えました。		
③	水使用量の削減 [担当:礼子・山住]	地中の水道管が破損したため地上に水道管を移設した。	社員数の増加のため今以上の節水を推進する。
	・使用に際しては、水の垂れ流し状態などをなくし、こまめに蛇口を閉める		
④	廃棄物排出量の削減	100%リサイクル化する業者を選んでおります。 リサイクル率の向上に努めてます。	今期同様、来期も取組みます。
	・一般廃棄物 事業所系 [担当:松浦・中村]		
	A) コピー用紙の両面使用		
	B) 業務連絡に電子メールの利用など、ペーパーレスに努める		
	C) 電子マニフェスト・システムの導入		
	D) 事務用品のリユースに努めます。		
	・産業廃棄物 [担当:村松・五十右]		
	A) 現場用の産業廃棄物は適正な収集運搬処分によりマテリアルリサイクルを実施する		
	B) 粗大ゴミ、ビニール、プラスチック類等は、事業所系では産業廃棄物になるので、上記同様に実施する。		
	C) マニフェスト票管理の徹底管理		
	・リサイクル推進 [担当者:竹迫・山本・真希]		
	A) ダンボール、雑誌等紙類のリサイクル		
B) ペットボトル、瓶、缶等飲料容器のリサイクル			
C) 「マイバッグ宣言」現場用のバケツバッグ配布!			
D) 「エコキャップ運動」の推進			
⑤	グリーン購入 [担当:佳子]	購入の際は徹底しています。	今期同様、来期も取組みます。
	・グリーン購入の実施の強化		

7 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

- 1) 当社の環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱（違反）はありませんでした。

環境関連法規等の遵守状況

担当者:花島 佳子

適用対象	法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況			
				2015年	2016年	2016年	2016年
				11月	2月	5月	8月
建築業	建築基準法	シックハウス対策	適正管理	○	○	○	○
	資源の有効な利用の促進に関する法律	再生資源として利用促進	指定副産物	○	○	○	○
	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	該当する建設工事の届出、必要な処置及び報告	特定建設資材 廃棄物の再資源	○	○	○	○
廃棄物関係	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物処理業者との委託契約	契約(書)の締結	◎	◎	◎	◎
		マニフェストの管理	A・B2・D・E票の保管(5年間)	◎	◎	◎	◎
		処理委託先の現場確認		◎	◎	◎	◎
		産業廃棄物管理票交付等状況報告		-	-	-	◎
		掲示板の設置		◎	◎	◎	◎
		マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	◎	◎	◎	◎
	家電リサイクル法	特定家庭用機器の排出	テレビ・冷蔵庫 他	-	-	-	◎
PCリサイクル法	OA機器の収集	パソコン・モニタ 他	◎	◎	◎	◎	
事業者全般	環境基本法	一般的な自主努力		○	○	○	◎
	地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	◎	◎	◎	◎
	循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	◎	◎	◎	◎
	グリーン購入法	環境物品の購入	事業者の一般的責務	○	○	○	◎
	自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	-	-	-	○
	消 防 法	火災の予防		-	-	-	◎

- 2) 過去3年間にわたって、関係機関等からの違反の指摘や利害関係者からの苦情、訴訟等もありませんでした。

8 次回の環境活動レポートの作成時期

(株)マルハナ環境活動レポート第10版の作成は、平成29年12月を予定しています。

9 代表者による全体の評価と見直し

報告	作成
花島佳子	片橋七奈代

作成 平成28年12月9日

1 ・ 見 直 し 関 連 情 報	項 目	確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書
2	環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 中期目標に変更したが達成が難しそうです。
3	環境活動計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取り組みます。
4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 記録に記載いたしました。
5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 特にありませんでした。
6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 未達項目は是正処置を実施しました。
7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/> 客先に喜ばれました。
8	その他()	<input type="checkbox"/>

2 ・ 代 表 者 に よ る 全 体 評 価 ・ 見 直 し 指 示	<p>エコアクション21の取組から10年が経過しました。 建設業界においては、ピーク時(4年度)よりは投資額が27年度には約42%減、建設業者数は約21%減と厳しい現実が続いております。 オリンピック効果で都市部では工事量が増加しておりますが、地方ではまだまだ厳しい状況です。それに加え建設業界では職人の人手不足と高齢化、社会保障改革に伴う一人親方対策の不備で毎年悪化しております。 当社も昨年より売上が減少しましたが、社員の努力により利益は確保してまいりました。前期から立ち上げたフラワー事業部・EC事業部のインターネット販売も少しずつ売上を増やしてまいりました。 厳しい価格競争の中、これからも日々努力・意識改革に取り組んでいきます。 社員・下請業者・メーカーの方々、又周りの住民の皆様にも、マルハナ・安全協力を通じて安全・防災対策、環境意識の向上を発信し続けて今以上にやって行きたいと思っております。 平成28年3月と11月には防潮堤に植樹・育樹会を行いました。 これからも毎年行っていききたいと思います。 当社としても、環境・エコ商品の企画を行ったり、1つのもので2つのことが出来るような作業効率アップの商品を考えていきたいと思っております。 これからも社員一丸となり環境への取組アップ、知恵を出しあい、エコを進めて行きたいと思っております。 また下記の通り再度見直しを実施するように環境管理責任者に指示しました。</p> <p style="text-align: right;">平成28年12月9日 株式会社 マルハナ 代表取締役 花島隆晃</p>		
	見直し項目	変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境方針	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	2009年版に対応済み
	2 環境目標	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	3 環境活動計画	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	再度、目標を達成できるよう活動計画を見直すこと。
	4 環境に関する組織	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	5 その他のシステム要素	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
6 その他(外部への対応)	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>		